

佐渡島における植物観察記録 3

渡辺 洋子

イタリーマンテマ *Silene gallica* L. var. *giraldii* (Gussone) S. M. Walters (写真 1) なでしこ科

羽茂 亀の脇 : IS-402752(2004. 渡辺洋子) [5638-62-43]

茎や葉、萼等全体に無毛の帰化植物。5月23日すでに花の盛りを少し過ぎた状態だったが、同じ場所のマンテマはやっと花穂が立ち出し、咲き初めだった。今年初めて気がついたもので、定着するかどうか、今後も観察したい。

エドヒガン *Cerasus spachiana* Lavalee ex H. Otto var. *spachiana* f. *ascendens* (Makino) H. Ohba

(写真 2・3・4) ばら科

(佐渡市) 新穂第二ダム 220m [5638-73-96]

新穂第二ダムへ降りるための自動車道のすぐ脇にある大木。中川 清太郎氏の測定によれば、樹高 25m 幹周 4.88m。エドヒガンの自生の記録は佐渡ではこれまでにないが、自生のものと思われる。また、周辺の山中に数本のエドヒガンが見られる。

杉池 赤玉 300~350m 写真撮影 16. 4. 12

自動車道わきの斜面に、3本程小さいが、植栽とは思われないエドヒガンがある。

ケイヌホオズキ *Solanum sarachioides* Sendt.

(写真 5・6) なす科

赤泊 太郎杉公園 280m [5638-63-60]

南米原産。腺毛が多くべたつき、果実は半ば以上萼に包まれている。これも今年初めて見たもので、今後定着するかどうかは定かでないが、元気よく大株に育っていた。

チコグサモドキ *Gnaphalium pensylvanicum* Willd.

(写真 7) きく科

両津夷 3m [5738-03-95]

熱帯アメリカ原産。平成10年頃から町中のバス停前の植込の中に生えているが、昨15年より郵便局わきの植込の中へも進出。

ノニガナ *Ixeris polycephala* Cass.

(写真 8) きく科

河崎 仏舎利塔 290m [5738-03-49]

仏舎利塔の廻りに敷き詰められた砂利石の間から数十株咲いていた。2001年新津年報に掲載したヒメスミレと共に数年前から咲いていたのだが、今年やっと同定したもので、砂利石と共に移入されたものと思われる。

ハクウンラン *Vexillabium nakaianum* F. Maek.

(写真 9) らん科

岩谷口 500m

新潟県植物分布図集9集448頁に新発田市、南蒲原郡、北魚沼郡、西頸城郡に記録があるが、佐渡では初めて見つかった。樹林下に数十株が散生。

その他

ヤマトキホコリ *Elatostema laetevirens* Makino

(写真 10) いらくさ科

和木 240m位 林内 [5738-23-05]

新潟県植物分布図集16集30頁に金北山 カキツバタ池、又同分布図集18集34頁に岩谷口、黒姫の記録があり、大佐渡山系にはわりあいよく見られる。石花越え、檀特山系、新大演習林等で目にしたが、写真は和木240m位の山田のふちの林内。佐渡では低海拔のものと思われる。



写真 1 イタリーマンテマ 羽茂 亀の脇 0m
June 23, 2004



写真 2 エドヒガン
新穂第二ダム 220m
April 14, 2004



写真 3 エドンヒガン
赤玉 300~350m
April 12, 2004

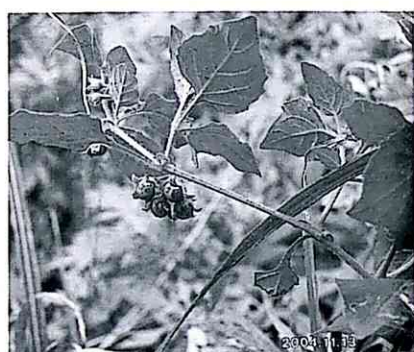


写真 5 ケイヌホオズキ
赤泊 太郎杉公園 280m
Nov. 13, 2004

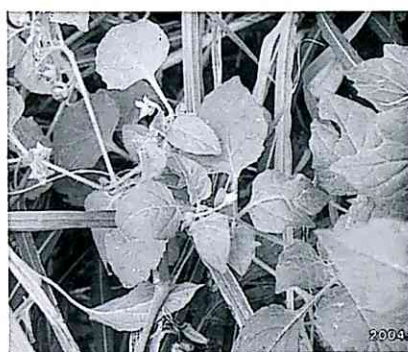


写真 6 ケイヌホオズキ
赤泊 太郎杉公園 280m
Nov. 13, 2004



写真 4 エドヒガン
赤玉 300~350m
April 12, 2004



写真 7 チチコグサモドキ 両津 夷 3m Sept. 15, 2003



写真 8 ノニガナ 河崎 仏舎利塔 290m April 26, 2004



写真 9 a・b・cハクウンラン 岩谷口 500m July 26, 2004



写真 10 ヤマトキホコリ 和木 240m Sept. 10, 2004

写真 13 オオヒナノウスツボ
和木 240m Sept. 10, 2004

写真 11 フジカンゾウ 和木 240m Sept. 10, 2004

写真 12 サウトウガラシ
和木 240m Sept. 10, 2004

写真 14 カワラハハコ 石名 650m Sept. 10, 2004



写真 15 ユキツバキ 新穂 青木山牧場-生椿 April 29, 2004

フジカンゾウ *Hylodesmum oldhamii* (Oliv.) H. Ohashi et R. R. Mill 県VU330頁 (写真 11・12) まめ科
和木 240m位 林縁 [5738-23-05]

北見で両津羽黒、浦川、矢柄に、又新潟植物分布図集3集139頁で豊岡、後尾に記録があるが、和木の記録を追加する。

サウトウガラシ *Deinostema violaceum* (Maxim.) T. Yamazaki (写真 12) ごまのはぐさ科
和木 240m位 休耕田中 [5738-23-05]

野田光蔵の植物誌に二宮、又 植物資料室年報 2001年で樹崎の生育が報告されているが、和木の山田でも確認。

オオヒナノウスツボ *Scrophularia kakudensis* Franch. (写真 13) ごまのはぐさ科
和木 240m 林内 [5738-23-05]

杉の植林地内でかなりうす暗い場所に生育。サウトウガラシの生えていた休耕田のすぐ上の杉山の入り口にフジカンゾウとヤマトキホコリ、ずっと奥にオオヒナノウスツボが生えていた。

カワラハハコ *Anaphalis margaritacea* (L.) Benth. et Hook. f.
subsp. *yedoensis* (Franch. et Sav.) Kitam. (写真 14) きく科
石名 650m : IS-402754(2004. 渡辺洋子) [5738-23-33]

檀特山奥の院入口近くの車道の脇に群生。

北見に入川、西三川、梅津の記録があり、入川の川原ではよく見かけるが、低地から移入されたものかと思うが、石名、和木ではまだ見たことがない。今後、観察してみたいと思う。

ユキツバキ *Camellia japonica* L. subsp. *rusticana* (Honda) Kitam. (写真 15) つばき科
新穂 青木山牧場→生椿 ca 400m [5738-03-08]

中川清太郎氏から八重のユキツバキが咲いていたとの情報を得、さっそく行って写真を撮ってきた。12月9日同じコースを歩いた所、普通のユキツバキで、咲き出しているものが七株程あった。

ウツボグサ(白花) *Prunella vulgaris* L. subsp. *asiatica* (Nakai) H. Hara (写真 16) しそ科
両津ドンデン 500m [5738-13-41]

車道の脇に二色混じって咲いていた。

ネジバナ(白花) *Spiranthes sinensis* (Pers.) Ames var. *amoena* (M. Bieb.) H. Hara (写真 17) らん科
両津秋津堺 5m [5738-03-93]

北見(1963)によりシロモジズリとして入川、梅津の記録があるが、秋津の芝生の中に1本だけ白花が混じっていた。



写真16 ウツボグサ 両津ドンデン 500m June 27, 2004



写真17 ネジバナ 両津秋津堺 5m July 22, 2004

文 献

北見秀夫(1963) 佐渡の植物 佐渡博物館研究報告 5